Bickel GmbH

www.bickel-blechtechnik.de

オーバーダーディンゲン市に本拠を置くBickel GmbH Metallbau Blechtechnikは、鋼、ステンレススチール、アルミニウムを素材としたカスタムメイドの製品、とりわけ装置工学や機械工学の分野における個別のソリューションを製造しています。ユルゲン・ビッケルは1983年、TRUMPFのコピーニブラー、ギロチンシャー、旋回式曲げプレスといった設備で会社を設立しました。現在、彼は娘のメラニーと共に、最新のマシンパークと40人の従業員を擁する革新的な会社を経営しています。

業界

金属工学、自動機設計、CNC板金加工、プラント建設、自動車工学、小売チェーン、機械工学

従業員数

40

事業拠点

オーバーダーディンゲン市（ドイツ）

TRUMPF製品

- TruBend Center 7030

課題

Bickel Blechtechnik社は、利益率の低い量産受注に別れを告げました。特殊用途向けの個別のソリューションを製造し、それらのプロトタイプを作ったりシリーズ生産するため、同社は最大限の柔軟性を備えた旋回式曲げプレスを必要としていました。ユルゲン・ビッケルと同社の生産責任者であるローランド・イェンツは、5年の歳月をかけてあらゆる製品をチェックしてきました。しかし彼らの期待に応え、必要なサービスを提供するマシンに出会うことはできませんでした。



"TruBend Center 5030のスイング曲げ技術は、私たちに新しい可能性を提供します。"

ユルゲン・ビッケルとメラニー・ビッケル

創業者とその娘

解決策

最初のTruBend Center 5030は、2014年にオーバーダーディンゲンに納入されました。TRUMPFに

よるCodatto社の買収後、Bickel Blechtechnik社にとって全体のパッケージが適切なものとなりました。ユルゲン・ビッケルは言います。「イタリアのロニーゴからやって来たマシンに、その柔軟性から長きにわたり私たちは満足していました。その製品とノウハウをTRUMPFが引き継いだことで、優れたサービスも受けられるようになりました」しかし何よりもまず、TruBend Center 5030の独自のマシンコンセプトに感銘を受けています。SortMaster Compactに追加の垂直軸があるため、加工品をさまざまな位置に固定することができ、非常に柔軟性があります。したがって、負曲げ加工や非常に狭いプロファイルでも問題なく製造できます。標準ツールを使用する場合でも、TruBend Centerは様々なサイズや形状を可能にします。そこでは最短の脚長、背の高いネスティング、小さなプロファイル、フォーミングのある部品、溝、さまざまな半径が可能です。パンチングメタルの加工も巧みにこなします。自由に配置できるサクションカップや、オプションの磁気ホルダーが、材料を動かないよう固定します。







実行

「TruBend Center 5030のスイング曲げ技術は、私たちに新しい可能性を与えてくれました」ユルゲン・ビッケルはこう語ります。「当社の協力パートナーにとっても最新のデザインが可能になりました」多くの板金部品で、Bickel社は湾曲したフロント部を作成できるようになりました。またここにはスイング曲げ技術とボトミングが組み合わされており、TruBend Centerの半径曲げでは、まず最初に筐体部品のフロントが曲げられます。次に、曲げプレスで辺が正確な寸法で成形されます。パーツの種類は無限大です。

展望

TruBend Center 5030で、Bickel Blechtechnik社は日々の生産における柔軟性を高めるコンプリートパッケージを手に入れました。故障が発生した場合でも、マシンが長く停止することはありません。チームは自らメンテナンスと維持補修を行い、TRUMPFの迅速な部品交換サービスや有能なメーカーホットラインを高く評価しています。